

第2回定例会

3名の議員が理事者の考えを質しました。

・一般質問①

一般質問



但木早苗 議員

平成28年度開設の

町立診療所について

救急や夜間の診療には

どう対応するのか？

町長「これまで同様、医師会や遠軽厚生病院の協力の元、救急体制の強化に努める。」

【質問】

1次救急医療の整備は市町村の責務とされています。町立診療所に対応できない診療の中には、救急や夜間があり住民にとっては一番心配な所ですが、町としては医師が十分確保できても患尚会に求めないという方向を示してきませんでしたので、町の責務としての様な対応策を考えたうえのか伺います。

【答弁】(町長)

遠軽医師会や2次医療圏域のセンター病院、遠軽厚生病院の協力を得て初期救急を取り進めており、その内容は、遠軽地区3町の初期救急医療業務として病院群輪番制病院事業などを実施しております。



来春に向け開設された医療法人の準備室

これと合わせ佐呂間地区は特別として救急車2台配置、

隊員も他は14名ですが、16名を配置していただいています。

【質問】

初めての医療法人運営の診

療所なので、患尚会とのコミュニケーションが大事になると思います。住民と共に診療所つくりをどう考えていくのか伺います。

【答弁】(保健福祉課長)

例えば住民の組織としてこの診療所を守っていくかなければならない、どのよう利用するといったかというのを町が主導するのではなくついで頂ければ、患尚会の方と一緒に協力し合っている診療所をつくりましようと言っているのは、やぶさかではなかと考えています。

燃えるゴミ収集日の見直しについて

【質問】

燃えるゴミ収集が週1回の

地域では、特に夏場の生ゴミは保管するにしても衛生面からもとても大変です。

今3町で行っているごみ焼却炉の建設に合わせ収集日の見直しが可能かどうか伺います。

【答弁】(町長)

新たな処理施設が稼働した後においても、ゴミの減量化に一層の努力をお願いしなければならぬし、今3町で協議しているのは、現在のごみ収集日の見直しは行わない、現状の体系でいくという事を確認しています。

マナーを守ってきれいなまちづくり

ごみステーション	
ごみの種類	曜日
有料 燃やすごみ	毎週 木
無料 燃やさないごみ	毎月 第1・3水
空缶類・ペットボトル	毎月 第1金
牛乳パック	毎月 第1金
新聞紙・雑誌類	毎月 第1金
ビン類	毎月 第2金
発泡スチロール	毎月 第2金
ダンボール	毎月 第2金
その他プラスチック類	毎月 第2・4金

◎ごみは収集日の午前8時までに出してください。
◎ごみは分別してキチンと出してください。
佐呂間町自治会衛生部

第2回定例会

・一般質問②

「シンククライアント
パソコン」とは、
パソコンに本体がなく、
サーバーに接続し起動する
パソコン
「サーバー」とは、
各パソコンにデータなど
を提供するパソコン
「OS」とは、
ウィンドウズXP・7な
どのパソコンを起動するた
めの基本となるソフト



三田真美 議員

公共施設のパソコンについて

公園遊具の点検は

どのように行っているか？

町長、雪解け後全ての遊具を点検し、危険箇所は修理や使用禁止などとしている。

公園の維持管理

【質問】

町内の公園の遊具の点検はどのように行っているのか。

交通公園に展示してある機関車等は塗装もはげクモの巣がはったりしている状況であり、広場は年に何度かしか使っていないので、子ども達が有効に使えられるように整備していく考えはあるのでしょうか。

また総合公園にあるアスレチックの入口がわかりづらいと思いますが、看板等を設置し有効活用していただくと必要だと思えます。

【答弁】(町長)

遊具の点検は、雪解け後シーズンが始まる前に全ての遊具利用に問題がないか点検し、危険箇所は修理すること



設置から25年が経過しサビが目立つ機関車

もに場合によっては使用を禁止するなどの措置をしています。公園内の清掃及び草刈りについては、佐呂間総合管理協同組合に業務委託し、草刈りは生育状況にあわせて行っています。

交通公園の機関車等は配置から25年が経過し塗装状況も悪いことから、来年度以降整備に向け検討していますが、広場については現状のままで使用していただきたいと思えます。

【答弁】(町民課長)

アスレチックは、入口については若干わからない部分もあるのですが、看板などの設置を検討していきたいと思えます。

【質問】 各公共施設、庁舎内のパソコンは現在ウィンドウズXP・オフィス2003を使用していると思いますが、来年サポートが終了することから最新版にどのように移行していくのか。

また、そのための経費はいくらかかるのか。

【答弁】(町長) 各公共施設と庁舎内を合わせて1200台パソコンが設置されています。そのうち40台は昨年ウィンドウズ7に更新済みで、サーバーに接続するための最低限の機能をもったシンクライアントパソコン47台を除く、ウィンドウズXP 33台の更新を今年度と来年度2力年で更新する予定です。

また、現在のサーバーで使っているOS、ウィンドウズサーバー2003は2015年7月でサポートが終了するので、今年度のシステム更新にあわせて、ウィンドウズサーバー2012へ更新していきます。

またオフィス2003は、今年度中にオフィス2010のライセンスを購入し、事務に支障を来たさめようとしていきます。

【答弁】(総務課長) 経費については更新が必要な33台で360万円、オフィス2003の更新は4388万5000円です。

第2回定例会

・一般質問③



高瀬 トシエ 議員

TPPや異常気象にも対応できる

酪農家の労働環境を改善する
経営形態はないか？

町長へ TMRなどの組織づくりが有効と
考えるが、特效薬がない現状。

【質問】

平成に入り400戸余りあった農家戸数は、現在163戸（酪農家96戸）に減少、年間約10戸が離農、本町が基幹産業を軸にバランスを保っていることから、20年後の我が町の状況は極めて厳しいものと予想されます。

今こそ町が強い指導力のもと打開策を検討し、関係機関と連携しながら体制を見極めることが重要であり、10年後の農業予想図をどう描いておられるのか。

また、平成22年の総合計画策定時にはなかったTPPに関する課題や問題点を反映させた主要施策の再検討が必要と考えますが。

【答弁】（町長）

基本は土づくりであり、基盤整備が不可欠。土地改良の事業採択に向け努力すると共に、生産基盤に重要な安定的な水資源の確保に予算の投入を図ります。農協の5力年計画の目標年（平成27年）には、農家の46%が60歳以上、経営戸数は155戸と予想しています。

今後、TPPの交渉状況により総合計画の主要施策の再検討は、必要に応じて後期計画に盛り込むなど速やかに対応してまいります。

酪農はヘルパー制度はあるにせよ、基本的には年中無休であり、仮に体調が悪くても無理せざるを得ず、現在も抜本的な対策はありませんが、今後の酪農産業を考えると

「仕方がない」と割り切った良いものか。酪農家の気力や体力を維持するには、人として最小限の休養が必要です。休日 の安定確保を含め、課題解決、改善につながる経営形態はないか、町内の法人運営とも併せ望ましい体制の有り方を伺います。

非常に難しい宿題を与えられたわけですが、酪農は年中搾乳作業がありそれをわかった中で職業選択したものであると、365日働くことで対価を得るといふことですね。

法人化しても労力的に変わりはなく、TMRのような組織づくりによって労働力、遊休地解消、機械の削減、生産性の向上が可能であることから有効であると考えています。解決の特效薬がないのが

国道333号線をつなぐ町道の危険防止と維持管理について

【質問】

中国・啓生地区10線道路の交通量の増加、高スピード、軟弱路盤への大型車の進入など、地元住民は交通事故への不安を訴えています。町道の管理者である町には、通行を規制する権限はあるのか。また、今後の対応について伺います。

【答弁】（町長）

道路管理者である町が交通に対する規制をかけることは出来ませんが、危険な道路となりつつあることから一層の注意喚起と安全のために、関係機関との協力・連携を進め取り組んでまいります。



交通量が増えている啓生の町道